京城新聞

漫言

寄書　渡邊不言

○佛教の勸善懲惡を說くや三世因果の理法に基く。然れども此三世因果說は誤謬にして眞理にあらざるなり釋迦が一切の苦厄は皆自業の結果なりとなして天災と人爲とを分たざるは誤謬の甚だしきものなり世には聖人君子と仰がるゝ程の人にあつて時に或は不時の天災に遭遇することも往々これあるを免れざるなり且つ三世因果說より地獄の[illegible]をなさしめんとするは道德を行ふ上に於て商法根性、爲換根性を增長せしむるものなり[illegible]よ[illegible]事なるにもせよ宗教上更に[illegible]以て導くの方便なり手段なり佛教に取つては初門なり若し夫れ其堂奥に進まんか佛教の歸とする所本義とする所は無所得なり一切得る處なきなり佛、文珠に謂て曰く因果も亦之れ虛妄なりと豈絕妙の妙處にあらずや其道德を行ふ上に於て陰險の韓信を憐む漂母の如くして更に酬を求めて爲すべからざる或は屢々散見する處なり彼の六波羅密中に想を留めざるの布施をなせとは基督が右の手のなすことを左の手に知らしむる勿と云ふと更に異なることなきなり且つ今日の如く本能主義の盛ならんとする世にあつては一粒万倍的の心を以て恩惠を施すも尚ほ施さざるものに勝る百倍ならずや由來宗教は下層の人々に行はるゝものなれば因果說を以て導くの益多きを覺ゆるなり元來利に敏きは小人の常なり君よ人の臣となつては忠に止まる理を知るも尚後金鵄勳章を欲するにあらずや佛教の因果說大に世に用ひられ効を奏する多きも亦之れが爲ならずや

○基督教の改過遷善は基督の十字架上の贖罪にあり之れを信ずる多くの人々は思へらく之に依つて天國の樂みは得られ不滅の火に投げ入れらるゝの苦みを免かると果して然らば佛教の因果說に依つて勸善懲惡を說くと何ぞ異なるなからんや然れども基督教徒の上帝を信ずるは究極する所善をなさんと欲するの意にあつて償罪あるが爲ならざるなり尚は神道家が神明を崇拜するは幸福の應現あるが爲ならず國家生民の本分として崇敬の誠を致すなるが如し只其基督程の聖人が基督ほどの罪なき義人が當時罪ありとして十字架上に就けらるゝは全く擧世混濁の爲にして善人を容る能はず却つて之れあるを惡むが爲なり故是か悟人益々基督の十字架を見、罪惡に瀕つるを知る依つて今後益々善事を盡して基督の如き善人亦[illegible]さども決して十字架につけず能く之れを容るゝ程の人にならんとて十字架を拜するなり

●學相の觀察演說（續）

十、近來私立學校設立の傾向西南部西北部共に之あり而かも概して其目的とする所眞誠に教育の發達を企圖せんとするにあらず唯自家の名聲の爲め又[illegible]の設[illegible]より生じたるもの如し其弊害や尠からず宜しく注意監督を要すべし

十一、私立學校は其類甚だ多きも眞に實蹟を擧げ居るもの少なきを以て到る處設立者監理者たる者を集めて懇々注意する所ありたり即ち各學校の妥協を遂げ[illegible]實蹟を擧ぐるに努むべき旨訓示し置きたり而して各學校の表面には幾多の錯綜せる事情存することなれば未だ遽に多數學[illegible]早晩妥協を遂げ[illegible]以て合相の實を擧ぐるものあるべきを信ず

十二、西南部に勞働夜學校なるものあり其施設は殉に勸奬に値するを以て本部より豫算の餘裕範圍を以て多少の補助金を下附し奬勵したきものなり

十三、到る處測量學校の勃興を見る是れ最近拓殖會社の設立に因りて生したる蜚言流說の產物と謂ふべく[illegible]とせず將來は普通學校程度の學校として其組織を改めしむるを要す

十四、書堂は何到る處に存せるが其教師は孰れも[illegible]に書堂に關する訓令の趣旨を學部より認可せられたるものゝ如く誤解し而して新教育の何たるやを理會して居る者の如きは絕無僅有と謂ふべし將來長く現狀に委し置くは決して策の得たるものにあらざるを以て其公立普通學校所在地以外に隔在するか又は普通學校に收容の餘裕なきものは格別否らざるものは是亦其收容せる兒童を普通學校に入學せしむる樣諭示する所ありしが一方に於て一般父兄たる者をして漸次新教育の眞相を理會せしめ各々其價値を認識して其兒童を普通學校に入學せしむる樣指導する者なかるべからずと思惟す寧邊の如きは書房は邑中に五六あり又開城は教育の盛んなる處なるにも拘らず同地及其附近に於ては書房の類は五六十の多きに上ると云ふ須く適當の手段方法を講じて新教育の普及發達に資する所あらしめざるべからず

十五、私立學校令に就ては地方に於て殊に其誤解者あることなれば京城の人民中に多きを怪まず京城內にては過日次官より其私立學校設立者監理者を集めて同令發布の精神等に關し詳細說明せられたる由なれば同令に對する誤謬見は必ず煥然氷釋したるべしと雖も地方に於ては尚ほ種々の浮言流說あり是れ蓋し地方人民自ら之を爲すにあらず一に京城の人民が法令の精神を解し誤[illegible]なるに因ることは嘗に私[illegible]に虛構の說を傳布するに因る[illegible]

月闇（七十七）

河合柳葉

某日の興談は、親戚なる同族の主人が出征すると云ふので、朝餉を了ると共に馬車[illegible]後で[illegible]

[illegible]駄を穿いて、例も氣の鬱した時漫歩さする自分の室に續いた裏庭に出た。時候は秋の中旬で、爲雅が一つの盤樂とも云ふべき、草花は自然のまゝ殊更に手入をせず、武藏野の昔を偲はるゝまで、咲き競ふて、とりどりの眺めは得も云はれぬ風情を示して居る。暫時くは、桔梗、苅萱、尾花、葛花、撫子などを恍乎として眺めて居たが、軈て思ひ出した如く菊圃の方へ歩を移さうとする時、

「君子樣此方にお在で遊ばしましたか、只今京都から電報が參りましたので、方々探して[illegible]ございます。」

君子は、振返つて其人を見れば、誰あらう大山豐春であつた。

「まあ、それは御心配かけましたのね、あんまり退屈したもんですから、些とお庭を散歩致さうと思ひまして……。」

と云ひつゝ、電報を受取つて、直樣封を切つて讀み下したが、嬉しさうな容子で微笑を洩した、そして大山に對つて。

「大山さん、お急ぎでなければ、お茶でも一緒上げませう。私の室へ入來つしやいませんか。」

「急がしくはございませんが、どうぞお構ひ下さいますな。」

「それに、少しばかりお話致したい事もありますから。」

「お話があるなら、お伺ひ申しませう。」

其まゝ兩個は足を回して君子の室にと入つた何樣此室は、爲雅の居室に近き離房で、家令家扶などの外は、容易に召使などの來るべき室では無いされど君子は小さい聲で

「此間から、一度お話致さうと思ふて居ましたけれど、お目にかゝる節がなかつたので[illegible]から承はりますと、濟川の緣談が首尾克く行かなんだらうですが、それがためと云ふでもありますまいけれど、此の五六日貴方の[illegible]樣子が[illegible]ゆゑ若やそれがために失望なすつた結果ならば私眞個深く御同情申さうと思ひますわ。私が此の御屋敷へ參られますやうになりましたも貴方のお力だし、又此方に參りましてからも私のために結婚なさらうと云ふ菊野さんの父樣を御前樣に勸めて暇をお出しなさるやうに計らつて下すつたり、御後室樣なりお嬢樣にお目にかゝるやうにも御盡力下さつたし、眞個貴方には一方ならない御厄介をかけて居りますゆゑ、御前樣にも左樣申して、どうか大山さんの希望を遂げさして上げて下さいますやうにと、お願ひ申して居るのでございますけれど、何分にもね、濟川と云ふ方が頑固一點だそうですから、只今では致方が無いと仰やるのでございます。けれども其中にはどうしても濟川さんの心も解けないとも申されないから、必ず失望なさらないで時節の來るのをお待ちなさいまし、及ばずながら私の力で間に合ふやうな事でもありますなら、御恩返しに甚麼な事でも助けますゆゑ、御前樣に內々で仰やつて下さいまし。」

如何にも同情深さうに云ふのであつた。

●漢城便り

●日米協商覺書に秘密に附せる附帶宣言有之候との事及聞申候、而して其附帶宣言は我帝國が韓半島に對する態度を明瞭ならしむるに於て最必要なるもの〻由に候、若し右の宣言にして眞に余輩の聞きし如くんば韓半島の運命も略ぼ定まりたるものと見て差支無からんと被存候。

●日米協商にて清國保全を宣言したるは清人の喜ぶところなるべしとは常識を有する[illegible]では常識の判斷に[illegible]物に相成居候、彼等は日米に因らず其他の列國に因りて保全を宣言せらるゝも亦分割を宣言せらるゝも[illegible]事には[illegible]て[illegible]不[illegible]候。

[illegible]たるパナマ運河も茲十年間は到底太西洋線路の連路とは相成申間敷候、我帝國の外債償却も茲數年間は到底實行の見込無之と被存候、同病相憐むは人情の常に候へば日米協商して太平洋の現狀を維持せんとするも強ち無理ならぬ儀と存候。

●日米協商の發表未だ幾ならざるに日獨協約成立の噂相立ち申候、協約を作るは軍艦を作るが如く費用を要するものには無之候、關係を附せざる空證文を與へて鬼權君や平再君が安心することなれば萬の協約に調印するも有害ならずと被存候。

●伊藤統監には不相變御持重の御樣子に候得共[illegible]に行詰まられたるにも有之間敷本年内には何とか御發展の事と被存候、兎角天祐を俟つて無爲にして化せんとするは公の御持前に候得共[illegible]頭は[illegible]も餘り公を見舞はず從つて立往生は免れざるものの如くに候。

●命長ければ恥多し春畝先生も今日迄生延びざりしならんには相當の英雄として世を卒へ現在の如き恥多き御身にはならざりし事と存候、長壽却て公を禍す、同や決して不幸ならずと候。

●古諺に無い袖は振れずと申候、我伊藤公も其腦髓は最早枯渇致候、從て無い智慧を捻り出して統監旗に光彩を附するの仕事を擧ぐるなどは到底出來不申候、其因果なる新命令に處定の丈は人一倍に有して居るを以て恰かも役の老妓の如く其職なせる面を塗りて良き敵を打取り昔の榮華を繰返さんとあせり居候、余輩情に於ては氣の毒に思ふも理に於ては其恩を笑はずんば非ず候。

●現角町内に事勿れ主義の余輩は京龍民間の合併問題に付可成沈默を守り居候、由來第三者は公平なる判斷を下すの便宜を有するものに候、而して余輩は同問題に對する第三者として合併を可なりと致居候、關係官民諸氏が同問題の解決を一日も早くせられんことを希望致居候。

●韓内閣更迭の噂昨今切りなれども余輩は余りに耳に止め不申候、統監が鞠々來られたるは内閣更迭以上の事を起さんが爲ならんと被存候、故に余輩は統監の名譽に對して韓内閣の更迭位を唯一の大事として耳に止むるを避け居申候。

東京電報

▲**長谷川大將の轉任** 長谷川軍司令官は暴徒鎭定を期とし内地の官職に就く事となり近々歸韓の上後任者の着韓を待ち受け事務の引繼をなす筈なり

▲**物價益々低落** 十一月中の東京物價は一歩二厘二毛の低落をなせり(以上六日發)

▲**南清警備艦引揚げ** [illegible]き揚げたり

▲**ブラジルと日本移民** 南米ブラジルより日本移民を要する旨通告あり政府は地方官に命じ奬勵し居れり(以上七日發)

雜報

●**皇族御渡清説** 不日御執行の清國兩宮御葬儀には伊集院公使を特派大使として參列せしめらるゝことに既報の如くなるが猶我國帝室の御名代として皇族御參列あるべしとの説あり

●**清帝即位式次第** 光緒皇帝の繼位者たる宣統皇帝の即位式は二日を以て北京に擧行されたり今其の大典の概要を聞くに當日は黎明宮内官を遣はして宮中に在る天地太廟に奉告を爲さしめ各司式官は太和殿に喜詔(即ち即位の詔書)を安置するの卓を設け喜詔を其上に安置し終るや内閣大學士一人各學士を率ひて乾清門に進み皇帝を請じて太和殿に至り皇帝は右喜詔を質問し夫より側殿にて禮服を改め皇太后宮に至り皇太后は正裝御着座の上皇帝の三跪九拜を受けられし後皇帝は更に太和殿に還御玉座に着かるゝや王公百官は三跪九叩して即位の大典を祝し皇帝は直に喜詔に玉璽を押され天下に布告を發すべき旨を宣し御退出在らせられ是にて式を終る尚當日は先帝の喪中に在るを以て伶樂の備へを爲すのみにて之を遠慮する規定なりと云ふ

●**日獨協約説** 華盛頓にいては目下獨逸は極東問題に關して日本と協約を締結せんがためこれと商議をなしつゝあるものと信ぜらる獨逸が此方針を執れる所以は日本が曩に露佛と協約を締結せる結果獨逸外交官は心窃に獨逸が佛の次位に置かれんことを憂ひたるが爲めなり獨逸外交界は所謂獨逸皇帝會見事[illegible]ものゝ顯擧につき憂慮せざるにあらざるも獨逸は極東問題について重任を有すと[illegible]日本の言葉を曲解したる傾きあり從つて日獨兩國の東洋に於ける目的と政策とを明白にして相互の誤解を避けんが爲め特に協約を締結するの得策なるを確信するに至れるものなり

●**滿州炭礦爭** 千金寨東二里の地にシントルと云ふ露國時代に採掘せる炭礦ありしが今回之が採掘を開始したるに撫順知縣は其中止を交渉し來りしを以て我炭礦長は撫順と同礦脈なりとて之を拒みたるに知縣は日本が若し中止せざれば現に使用せる支那苦力の勞働を禁止すべしとの擧言をなしたりとの報告を得て岡部領事は去廿七日知縣立會の上唐交渉使と協議する所ありしが二十九日に至り知縣は兵を出して[illegible]を迫り[illegible]領事は撫順境界問題の解決まで同炭礦採掘を中止すべければ清國も亦現に採掘しつゝある打篇子の炭礦採掘を中止すべきを交渉せしが未だ中止せず尚交渉中に在り

●**救世軍と韓人** 救世軍は世人の知る如く社會の暗黒面に向つて基督教的人道を説き此れに光明を與へて其の墮落を救ふの主義にて世界に熱心なる布教しつゝあるものなるが今回同軍が韓國の布教に着手せしに關し頑迷なる地方人民は此れを軍隊と誤解し同軍を以て米國人が韓國に軍隊を召集して韓國の獨立を助くるものなりと流言して騷ぎ立て救世軍に於ても大いに迷惑を感じ居れりと云ふ

●**東拓株の割當** 應募株數約四百七十万、三十六倍てふ意外の結果に達したる東洋拓殖株式申込證據金約一千百七十萬圓は未だ割當確定並に拂込通知に接せざるため空しく銀行の庫中に藏せらるゝの姿なり今當局に就て確めたる所に據れば十二月十日頃株主に對し拂込通知を發すると共に申込證據金中より第一回拂込を爲さしめ殘金は直に返付する手順なり例へば一千株の申込者は證據金として二千五百圓を供託しつゝあるも二十八株の割合なれば三百五十圓の拂込を爲し殘り二千百五十圓の返付を受くべき計算なり右拂込結了と共に法定の期間を經て本月二十五日頃創立總會を開き明年一月正副總裁理事を始め社員渡韓先づ韓國政府より三百萬圓の對價として東拓に讓り受けたる田地五千七百町歩山林畑五千七百町歩の引渡しを受け京城に本社を設け如上の田畑所在地たる各道就中南韓三道に出張所を設け土地改良種苗肥料の試驗場等を開設して農事の面目を一新せしむると同時に資金二百五十万圓の一部を割いて金融業を開始する手順なる理事監事は本邦側にて既に定れるも尚時間ありて發表の運びに至らざるに到て韓國側の理事監事は二日確定したり

●**稷山金鑛は無事** 稷山(忠清南道)金鑛不穩の風説あり保護のため京畿警察部より巡査を出張せしめたる由なるが該巡査の復命によれば同礦山は極めて靜穩にして米國人技師『ティラア』の談によれば採金業不振の爲め昨年八月以降工夫の賃金支拂を停止し遂に本年五月事業を中止し其の整理のため日本及び京城に旅行し本月四日歸來したるに韓人工夫三四十名面會を求めて賃金支拂を請求せしも不穩の行動なく引取りたり而して同人は警察官の出張に對し感謝し居れりと

●**官撰撤廢問題** 官撰民長令撤廢問題に付有志者十數名一昨夜日本人商業會議所樓上に集會を催ほし今後の方針と[illegible]を遂げたる由なり

[illegible] 舊白銅貨の交換は客月三十日限り廢止せられ吾人相互の取引には其の通用を禁止せられたるも右の期限後六ケ月間は公納に限り使用することを得るものにして明年五月末日迄は地税戸税等は勿論税關に納付すべき關税其の他の公納に使用するを得べく商民團に納付する税金、商業會議所の課金衛生協會費等に舊白銅貨を收納したるときは其民團又は商業會議所等の請求に依り本金庫又は各支金庫に於て該期間中は何時にても通貨と交換すべき旨度支部より金庫出納部へ通達せり然るに該貨の通用禁止を[illegible]し地方の奸商等此れを安價にて地方民より買收せんとするものある由なるも通用禁止後と雖も前述の取扱を受くる事を得るものなれば奸商輩に詐かれざる樣注意すべしと

●**愛國婦人當番幹事會** 愛國婦人會韓國本部當番幹事會は去る五日午後三時倭城倶樂部に於て開會し兒玉三浦兩副長、永濱、黒田、小松、木島の各幹事出席し兒玉相談役より部務取扱上に關する談話ありたる後大要左の申合をなし散會したり

一、當番幹事は是迄三ケ月交代なるも自今四ケ月交代とする事
一、毎月一回當番幹事會を開く事
一、必要の場合には臨時開會する事
一、當番幹事中に主任一名を置き本部長之を指名する事
一、今期間中は黒田夫人に依頼する事
一、主任は日誌を備へ在任中施行したる重なる事項(軍隊の慰問及送迎人名等)の記錄を取扱ふ事
一、當番幹事會の通知は主任より各役員及本部へ之れをなす事
一、當番幹事は會員及贊助員の增募に盡力し常に其異動に注意し本部へ報告する事
一、來年度より評議員會の議決を經て本部豫算を定め部務を執行する事
一、本月中旬を期し本部役員及會員有志の忘年會を開催する事
一、行路病者並に孤兒に物品を寄贈する事
一、新年早々會員有志の名刺交換會を開催する事
一、近日來航すべき練習艦隊乘込員入京に際し慰問品を贈呈する事

●**愛國婦人會** 昨日午後二時同會韓國本部より小松木島兩婦人は南山本願寺行旅病者收容所を慰問せられ收容者各自へ防寒用の眞綿を寄贈せらる

●**郡の廢合** 本日の官報を以て平安南道中部の一部廢合を發表せられたるが尚京畿黄海道平安北道等の廢合は目下審議中にして其の他の各道共全部にて約三十五郡を減ぜらるゝ筈なり

●**英國の女市長** 英國ウイツコム市ウイツコム、アベー學校長カウンシラー、ダウ孃は此程ハイウイツコム市長に撰擧せられ孃も之を承諾したるが英國に於て女子が市長に選擧せられたるは[illegible]

●**觀察府不移轉** 光州なる全羅南道觀察府を木浦或は羅州に[illegible]ありしが[illegible]に據れば右は[illegible]の他の都合にて當分の儘となし置く事に決定せりと云ふ

●**農蠶技術官會議** 既報第一回韓國農蠶技術會議は元衛戍病院跡山林局構内にて昨七日午前十時より開會せらる漢城府城及び各道の模範場試驗場種苗所等に在勤の技師技手廿五名出席し趙農商工部大臣木内同次官中村農務局長以下同局員同列席し趙大臣木内次官中村局長の訓示演説ありたる後既報の問案を審議し午後四時散會す尚本日も引續き開會す

●●●●●●**主教の學部訪問** 佛蘭西教會天主教主教ミユーテル氏は私立學校認可に關する手續其の他間合のため本日學部に俵次官を訪問せり

●**韓國法官特別任用** 司法省にては曩に韓國司法官九十九名を選定し同國へ赴任せしめたるが今回更に第二回分の選任を依賴し來りたるも内地にては新刑法施行のため司法官の缺乏を來し直に要求人員を選任する能はざるを以て裁判所監督書記中の敏腕家にして特別任用令を以て韓國判檢事たり得べき資格を有する十六名及裁判所書記四十二名を赴任せしむることとなり目下手續中なりと

●**十一月特許出願件數** 左の如し

	特許	意匠	商標	著作權	計
日本	二二	一	三八	—	六一
韓國	—	—	—	—	—
米國	—	—	六	—	—

開局以來の累計特許七六意匠五商標三六三著作權一合計四百四十五件なり

●**江華島暴徒儒生** 江華島傳燈寺の僧は豫て暴徒が保管を托したる軍銃一挺並に火繩銃三挺を去る十一月一日討伐隊に渡したるを暴徒は之を不都合なりとして寺僧を詰責し過日何れにか連れ行きたる由なるが客月廿七日同島基城浦に右僧の屍體漂着し檢視を遂げたるに傷痕は認めざりしも四肢を緊縛しありて豫ての噂の如く暴徒のために海中に投入せられたるものゝ如しと

●**穀物升の改良** 仁川穀物市場に於いて使用し居れる斗量は從來古物を用ひ居たる爲め斗量の上に於いて多少均一を缺くものありたるを以て曩に當局者間にて之れが改正を計る協議ありたるが一昨日仁川警察員及仁川商業會議所西村書記出張して檢査をなしたる結果愈々從來用ひ居たるものを全廢し日本枡を專用することに決したり右に付一昨日午後穀物協會及紳商會社員の打合會を開き枡注文に就き協議を重ねたるが結局紳商會社にて七十個穀物協會にて三十個を購入し共に同所[illegible]に決したりと云ふ

●**穀物檢査開始期** 仁川穀物協會が同地商業會議所の囑託を受け[illegible]に開始すべき穀物檢査は其準[illegible]なりしが愈々本日穀物協會役員會を開きたる上其の開始期を決定する筈なりと云ふ

●**大豆相場の下落** 仁川港に入津する大豆は本月に入り其の額益々增加し來り一日平均每日二千石の入津を見ざる日なかりしが昨今尚增加し約三千石の入津ある爲め同地海岸は稍殷賑を極め來り一般商人も亦稍景氣付き來れるが同地に於ける大豆相場は支那凶歉のありたる際神戸に於いて鐵嶺物品薄を告げたる爲め一時三十錢方の上昂を見たるも其後鐵嶺大豆の又出現するや相場は又下落し二日に五錢方の下落を見たるが坂地に於ける銀貨下落の影響は延いて仁川穀物市場に及ぼし一昨日又も十五六錢方の下落を現はしたり

●**咸興民友の發行** 咸興なる岩本猪之助氏等の發起にて同地に咸興民友新聞なるものを發行する事となれりと

●**連絡貨物の成績** 客月中關釜聯絡船により韓内地に輸入せられたる大貨物は五萬九千四百三十六個、噸扱一千四百九十一噸、斤扱二百八十四万七千八百九十四斤にて此賃金の内釜山にて徴收したるものは五千五百五十四圓八十錢なり之れを昨年の同季に比すれば個數にて二萬四千三百十九個噸扱にて五百八十三噸、斤扱にて百二十四万一千九百七十斤を增加したるも釜山扱賃金は却つて百二十三圓六十六錢を減じたり又た輸出大貨物は二萬二千百十八個、噸扱八百二十一噸、斤扱六十萬六千四百七十二斤にて此内釜山にて徴收したる賃金は三千七百十三圓七十九錢なり猶ほ之れを昨年の同季に比すれば個數にて八千八百八十二個を減じ噸扱にて百八十一噸を增し斤扱にて百萬七千九百七十九斤を減じ釜山扱賃金にて八百九十七圓五十五錢を減じたり因つて憶ふに輸出大貨物に於て昨年に比し減少したるは米豆の不作で内地の不景氣に基因したるものなるべしと雖も然る最大原因は聯絡直送の著しく發展し釜山を中繼とする事少なきに至りたる結果なるべく輸入の如きは最も的確に之れを證明するものにして表の示すが如く昨年に比し本年に於ける輸入の大貨物は個數にて二万四千餘個噸扱にて五百八十餘噸、斤扱にて百二十四万餘斤の增加を示せるに拘らず釜山扱賃金は反比例にして百二十餘圓の減額を告げたり去れば將來長距離運賃遞減法の發達と鐵道貨物授受手續きの簡捷なるに至れば輸出入共に漸々釜山の中繼を待たざるべきなり

●●●●●●**寫眞畫の發賣禁止** 東京造幣局發行の韓國太皇帝現皇帝及皇太子を撮寫せる寫眞[illegible]は[illegible]發賣を禁止せられたり

●**韓人警部の教習修了** 警察官練習所に於て教習中なりし韓人警部[illegible]外十名は本日を以て一ヶ月間の教習を[illegible]勤務を命ぜらるべしと

●**警察官の服裝** 日韓警察の合併せられしより警察官服裝改正の議ありしが當局者間に於て種々研究の結果日韓人共從來の儘即ち日本人は日本警察官として從來用ひるもの韓人は從來の韓國服制の儘とする事に確定せり

●**憲兵隊の移轉** 憲兵隊本部は兼ねて元軍司令部跡旅團司令部官舍に移轉の計畫中なりしが今回愈々移轉を決し八日同所に移轉し執務することゝなり又憲兵分隊も本部跡に八日移轉し事務の[illegible]を開始すべしといふ

●●●●●●**憲兵下士の任命** 憲兵隊本部にては[illegible]日附を以て上等兵より伍長に二十一名昇級任命したり

●**日本船の沈沒** 群山居住中村初太郎の所有船(日本形三百五十石積)は白米を滿載し同地税關埠頭錦江流域に繫留中颶破のため沈沒し中村初太郎は行衛不明となりたり損害は約四千五百圓なりと

●●●●●●**南大門郵便局落成** 建築中なりし南大門郵便局は十二月上旬落成し五日移轉し事務を開始せり

●●●●●●**平壤停車場落成** 建築中なりし平壤停車場は此程落成せるを以て舊停車場より移轉せり

●●●●●●**小田書記官の着任** 奈良縣立中學校教授小田省吾氏は今回第一高等小學校教授に轉じ任官在職の儘三土氏後任として學部書記官に任ぜられ此の程着任せり

●**辭令** (二日附)

理事廳警部 横尾勇太郎
韓國政府の傭聘を解かる

公人私人

▲永安壽次郎(海軍主計少監) 五日釜山へ向け出發
▲山瀬茂(天一銀行臨時主任) 五日歸任
▲三浦直次郎(木浦勸業模範所技師) 五日入城巴城館
▲佐藤政次郎(同所技師) 同上
▲宇土兵[illegible](海軍主計少監) 五日入城[illegible]旅館
▲小島如州(陸軍少將) 同上

實話 地獄谷(二)

かへで

だん／＼道を進むに随つて、厭な臭が鼻を突くのが烈しくなつて來る。

「あつ臭い／＼、何んといふ汚ない溝だらう」と、和田は溝の中を覗き込んだ、「秋でさへ斯様に悪臭のだから、炎天續く夏な[illegible]の日は甚麼だらう」と思つた、而して蚊や蠅がさぞ多いだらうとも思つた。

和田が、點燈に○○料理と名打つた格子造の粗末な家の前を通り過ぎやうとした時[illegible]ら、偶然出て來た、角刈の丈の高い、色の淺黒い三十許の職人だ、其の後に未だ年の若い女が、眠むさうな眼を擦り乍ら、跟いて來る、顔の領や襟首の邊は、白粉が剝げて仕舞つて、耳朶の後方と比較的低い鼻の兩邊に僅に其の名殘を止めて居る、見るからに汕つ氣のない、色の黒い醜婦である、醜婦は横目で和田を見た、和田は氣色悪さうに顔を外らした。

「又近い中に出なさいよ」と女が言つた。

「あ、來るとも……」男は氣のない返事をして後にスタ／＼行つて仕舞ふと、女も續て家に引込んで仕舞つた、

「かうだ、あれが所謂蝸甫か」と和田は心に頷くと同時に「アヽ、囚はれたる女」と呟いた。

人に囚はれた籠の小鳥は、自由の翼を失ふけれども、生活難に惱ひ辛ふの心配はないのである、社會と云ふ籠の中に囚はれ、加之に義理の鎖に繋がれた人生ほど、果敢ない憐なものはなからう、天帝から賦與された自由の權利は奪はれ、義理の人情のと世の掛に束縛され、それでも尚は生きねばならぬ社會の義務があるなんて、何んといふ詰らない生涯だらう、義理は辛ひもの、人情は忍び難いもの、如何かして此の義理や人情と云ふ縄を斷つて仕舞いたい、それは社會と云ふ大きな籠を打破して、焼き棄てねばならないが、サテ甚麼して社會を壊さうかと和田は、又深くも考へた。

●揚州街道の追剝

……藪中に潜み居る……

京城市街を去る僅か二里許りの所に(揚州街道)去月下旬より追剝出沒し通行人を捕へては金品を強奪しもし應せざれば暴行を加へて目的を遂する由の噂さを耳にしたる揚州警察署にては時節柄捨て置きがたしとなし早速刑事を派して其の附近を徘徊せしめ警戒するも怠りなかりしが彼等は巧みに姿を晦ますものと見え容易に姿を現はさず而も被害の報は頻々として絶ゆる間なきより京畿警察署にては[illegible]物騒な話しなれば何とかして一日も早く逮捕し與れんものをと私服巡査十余名を派し日夜の別なく揚州街道の彼所此所に徘徊せしめつゝありしが四日正午頃一名の私服巡査が同街道をば彷徨し居りしに路傍の松の樹に一名の韓人縛り付けられアイゴー／＼と泣き叫び居るより件の巡査は此の者こそ必定追剝に逢ひたるに相違なしと早速驅け付けて韓人の縄を解き事の次第を質したるに其の言ふ所に依れば實は自分は今より三十分許り以前東大門に赴かんとて荷馬車を曳き此處を通り掛りたる所[illegible]中より現はれ來り荷馬車を曳き去りつゝいて自分をば御覧の通り縄を以て縛せしその事に警官は早速手を分けて谷の藪中を探索せし[illegible]蹲踞し居りしを發見し[illegible]捕へ本署に引致したりといふ而して右の荷車を曳き去りし曲者は何れへ逃げ去りしやら今に不明なりといふ

●入營新兵

……全身に刺青、砲兵聯隊入營……

今回甲種合格を以て大阪の野砲兵第四聯隊第三中隊に入營せる壯丁才賀藤松(二二)は同市西區にて濱仲仕をなしゐたる者にて何時施せしものか背と腹は無論手といはず足といはず全身一面見も恐はしき紺地に紅すで縷めたる蛇龍の彫物をなし居り斬代未聞の新兵なり聯隊長は斯かる淫靡のものゝために隊中の風紀を紊すとありてはとて寝るにも絶ゑず全身を白布にて巻かせる筈なりと

●遊客の自殺

……何所の者とも判明せず……

去四日大邱唯一の料理屋達城館に於て遊客の自殺騒ぎは演ぜられたり今下に概畧を示せば去月二十九日の午後丈け高からず低からず色白の八字髯銘仙の綿入に同じく羽織を着流し旅行鞄を携へたる三十歳前後の一人の男唯家旅館に投宿したり此男は其夜達城館に繰り込み自分は仁川本町土井光四郎なるものにて今日太田より來邸せし旨言ひ振らし藝妓の揚句酌婦久子の手を取りて定まりの黒幕の裡にと隠れたり其れより一日二日三日と其儘同樓に流連け久子及び藝妓の金時、どん子等を引き連れ錦座に伊井一座の新派劇見物と洒落れ込むなど大盡風を吹かせ居りしが四日午後七時頃久子を揺り起し暫らく一人にて緩くりやすみ度ければとて女を退ぞけ格別怪しき様子も見へざりしが久子が九時頃同室に至り見ればこわそも如何に客は一面血汐を流して絶息し居たり同館よりは急に警察署及び同仁醫院等に報じ應急手當を施したるも遂に何等の効果もなかりしなり同人の枕許には小さき空瓶のころがりありしを見ればモルヒネを服せしものと想像せらるゝ尚同人が同館に於て費消せし金額は約七十圓にして現金十六圓の外時計手提鞄其他價格七八十圓の所持品あり依つて警察署は仁川署に照會したるも判明せざるより各方面に照會中なるも未だ彼れが何處の何者なるか判明に至らずと云ふ

●妻女の自殺未遂

……夫の無情を苦にして……

東部新橋洞冷井洞四十三統新戸張顯明の妻柳姓女(四十)は一昨々日午後九時頃自宅温突の一室に於て鴉片を飲用し自殺を企てたるも夫顯明の為めに發見され直ちに醫者を迎

●店員評判記

エーテー店主任　淵田實雄氏

[illegible]氏は幾何からの商人ではない、初めの希望は[illegible]を完うせんため横濱の或る寺院に身を委ね刻苦修練新道の研鑽を積み、造詣する所ありしが、中途思ふ所ありて目的を替へ實業家たらんと志し三十八年八月當時のエーテー(本店は釜山辨天町、京釜鐵道食堂列車請負ひ)支配人として渡韓し草梁支店詰となつたのである爾來鞠躬盡碎身を以て同店の為めに努力し多大の貢献を與へ專ら同店の重鎭として一方の店權を握るやうになつたのである三十九年七月京城エーテー主任兼飲樂人となり一意店運の繁榮と顧客の滿足とを圖ることにのみ腐心して居る故を以て一般顧客よりの評判よく其の調理の美味なると價の低廉なると且つ客扱ひの懇篤なるとは殆んど他に比類がない氏人となり廉潔にして義侠の心厚く謙虚坦懐、而も氣概に富んで居る從つて商機を弄して擬選に陷らず人に對して表裏の別を立てない凡ての遣り口が眞面目で漸進的である、現今にては倚袖、尻つ端折りの姿で下廻りの小僧共と一緒になつて立ち働ひて居る生れは三重縣、本年三十七歳の血氣盛りである

同店員　大塚松榮氏

原籍は千葉縣長生郡鶴海村、本年二十五歳エーテーの為めには最初から能く盡して居る朝鮮に渡つたのが三十九年四月最初食堂車に乗り込み其の後本店詰めとなり本年の一月京城エーテーに入つたのである人物は當世の壯者としては珍らしく沈着寡言といふ方である現今にてはよく主人を助けて職務に勉勵し一點影日向の行ひがない手腕は却々達者なものだ

ねて應急の手當を施したるが生命だけは取り止めたりと云ふ原因は夫顯明の無情遊蕩を苦にしてなりと

●老母ナイフにて咽を刺す

……陰鬱性に陷りし結果……

東部蓮花坊五十四統居住[illegible]女(六[illegible])は兩三年以前より陰鬱性に陷り[illegible]家人や他人に向つて「もはや此の世に望みなければイツソ死んで了つたが……」と口走り居るより家人のもの同女の擧動に心を配り居りしが終に昨夕家人の隙を窺ひ大ナイフにて吞れど吞が咽を刺し自殺を企てたるも傷淺くして死に切れず四苦八苦し居る所を家人の爲めに認められ早速醫者を迎ゑて應急手當を施したる由

放多良歌誌(二)

●狂歌　釜桝坊

▲魚友痴史を吊ふ
興ふかき滑稽海の波浪そこに消へてゆくるも白魚の友

▲達たい生に告ぐ
痴史が庵は四の大門上に抜け又其の上を一と筋の外路

▲御齋君方に告ぐ
滑稽駄放樂汗をふき／＼まだ世に認められ手が廻らず

同(三)(六日平民文庫参照)

▲電信柱から斜に針金が地上に立つて居るが晝間は兎も角夜分などは實に危険な現に僕は此間針金で額を打つた
「エレキ●●●●」險暗の夜盤の電信機
額は●●●金で眼から火が出た

▲汚物掃除はナカ／＼行き居いて居る序に汚れもの〳〵洗濯迄遣て貰ひたい
「獨立と謂は名のみの新世帯」

●朝鮮漫話

深田新堂、鳥越靜岐兩氏の共著に係るものなり漫畫は靜岐氏一流の筆を以て巧みに韓人の風俗習慣を畫きしもの之が説明者は彼の「よぼ紀」「暗黒の朝鮮」を著はしたる深田新堂氏兩々相俟つて讀者の感を動かすもの又偶然に非らざるなり目次は「大臣行列」「温突の竊居」「ハイカラ妓生」「牛刀」「紙鳶揚」「鳴雨屋」「韓劇の働哭」等外四十三種なり(一冊四十錢京城本町日韓書房發兌)

●掃除から喧嘩

西部大尹洞四十統金相演(四五)は一昨日午後六時頃掃除の事から喧嘩して警官から大目玉を頂戴せり

●無錢遊興

一昨日午前四時半頃長谷川町芦澤商會の雇大工小澤豐五郎(二二)西岡三郎(三二)及び永田政七(三二)の三人が太平町二丁目九州樓へ押し上りヤレ酒だ肴だ婦だと大散財を爲した揚句イザ勘定となつて嚢中無一文なるより樓主は警察署へ届け出でたるが結局同商會員島本虎といふのが五圓六十錢丈持ち來り事濟となりたり

●丸京の大割引

本町四丁目丸京杉本呉服店にては去る五日より來る三十一日迄正札より三割引にて蔵浚賣り出し中なるが見切反物及び繻しぎれ等は飛切の安價なる由

●龜屋の歳暮賣り出し

本町三丁目龜屋商店にては去る五日より景品附蔵浚賣出し中なるが非常なる好況の由景品總額は三千圓にて一等一千圓二等三百圓三等百圓其の他二百等迄の大當りあり尚一本も空籤なく三圓毎に福引券一枚を進呈する由因に本町一丁目なる支店及び平壤、安東縣の兩支店も景品附賣出し中なりと

●辻屋の蔵幕賣り出し

本町二丁目辻屋本支店にては去る五日より三十一日迄一割引を以て蔵幕賣り出し中なるが非常なる好況の由詳細は廣告欄にあり

平民文(一)

▲東京から落語家の上手なのを呼び寄せては何うかな[illegible]

▲京城へ來てから驚いたのは家賃と下女の給金と散髪料と風呂錢の高いことだ(新渡來)

▲京城に强慾非道の家主が三四人ある彼等は常識を有せず人情を解せず自分の方に都合のよき理窟を並べて得々たり是等は宜しく其の筋に於て家主取締法かを設けて嚴重に取締つて貰ひたい(旭町住人)

▲山櫻といふ卷莨は柔らかくて咽當りがよい一箱七十錢値も廉い(日本男子)

▲オイ／＼理事廳前の雑貨屋のトツツアン客に對して[illegible]一寸買ひ物に行くと宛るで叱られに行くやうだ(魚屋の兄哥)

▲貴紙三面の店員評判記はナカ／＼面白いが少しは短所も出したまへ(會社員)

▲僕の親戚の若者は京城へ來てから非常に道樂者になつた內地に居る時はカ／＼堅かつたのに……此れも他に高尚な娛樂の機關がない爲めでせう記者さん居留地の風教上何とか考へて下さい(心配生)

▲印刷局野線科の井口よ餘り威張ると局の裏山で拾つたと云つて貰つた二十貫目余の銅線の一件を素つ破抜くぞ(糟粕子)

▲無料紹介欄▼

求人部

●看護婦至急入用 明治町一丁目松岡醫院(一一八)

●女子見習生募集 本町六丁目中村齒科醫院

●韓語速成教授 本町六丁目六五韓語速成講習所

崎村君よ御親切なる御言葉厚く御禮申上候 石村生(一一五)

下女入用 望の者は本人來談あれ 氏名在社(一一六)

女中入用 裁縫の心得ある者

英韓語無料教授 自午後六時至九時 本町三丁目二十三番戸ノ四 下田生(一一三)

二十歲迄の店員五名身元保證人ある者雇入たし 姓名在社(一二三)

物件部

貸地 本町八丁目通り地所四十坪温突十一間建家の價格安にて至急賣却 姓名在社(九九)

賣地 京仁線龍山停車場近所在上水田四石余安價にて賣却す希望者は至急申込あれ 旭町二丁目京城興信所(一〇二)

便利の場所にして電話の備もあり官吏向き八疊四疊五つ間二階貸間あり電話六五九番に御照會あれ(一一〇)

古着 其他御不用品買受けたし 旭町一丁目競賣所(一一九)

貸間 旭町一丁目便利の場所にて六疊二間二階貸したし望の方は御來談被下度候 旭町十の六 京仁商會(一二二)

廣告

開店披露

染地手拭太物製造販賣
印入手拭風呂敷袱紗品ハ美麗ナル包紙ヲ無代進呈ス

足袋製造販賣
四ツ小鉤 別製品

關戸蚊帳株式會社特約店
羅紗インバコート服類販賣元
びんつけ石鹼一手特約店

本年十二月五日全部品揃致開業仕候
十二月一日ヨリ京城着元價向ノ卅一日マデ正價ノ一割引

明治町一丁目(元帝國一號)
桑原久藏商店
電話四八三番 電略ヤマクヌ

龍山元町
桑原支店
電話百十二番

●地方の御注文は代金引替小包に御送付

仕入先 最新流行の品を東京及歐米諸國より直輸入致し勉強廉價に發賣仕候

○季節柄品々澤山に取揃居申候新年用防寒用として何卒御注文の程奉願候

○ライトメリヤス ○毛メリヤス ○ジヤケツ ○ラクダ毛布
○白毛布 ○色毛布 ○毛足袋 ○膝掛
○肩掛 ○襟卷 ○羽根蒲團 ○手袋
○中山中折帽 ○小供帽子 ○子キタイ ○シガレツト
○シルクハツト ○シガー ○ビスケツト ○洋菓子類

○御注文次第直に代金引換小包郵便にて御送り可仕候 御注文に叶ひ不申候へば御送り返し被下候て差支無之候

雜貨洋酒食料品商
京城本町三丁目
龜屋商店
電話四七五番

齒科開業御披露

技術は最も叮嚀親切を旨とす

京城旭町一丁目五十四番戸
齊藤齒科專門

開業御披露

十二月八日より開業致候に付ては當一層勉強致し加へ殊に叮嚀勉強仕り候間何卒格別の御引立を以て陸續御來遊の程伏て希上候

十二月

京城大和町一丁目

會席御料理 開花亭

インペリアル GDS

土耳古煙草直輸入卸小賣

本品ハ特ニ原料ヲ精選シテ製シ特色ノ風味香氣ヲ有シ最モ高尚ナル飲料ニシテ來客用ニ適セリ

出張所 明治町壹丁目

ジーデーシエリス會社

エムジーシエリス

懷中要藥

清心丹は旅行携帶藥として缺く可からざる良藥にして汽車汽船の乘物醉ひを快よくすること妙

清心丹は高尚なる香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し香聲を清朗ならしむる特效有を以て發聲家其他交際場裡の必携劑なり

清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし

清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるとき時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ

清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を嚙み碎き三四回用ゆれば必ず奇效あり

清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙

清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒嚙み碎用ひて大に豫防す

清心丹は人魚の商標と高木與兵衞の名儀へ御注意之上御求めを乞ふ

清心丹は定價金一圓(箱入)五十錢(箱入)卅錢十五錢(罐入)十二錢(一瓶入)廿錢十錢五錢(紙包)の八種あり

清心丹は右本舖は東京市日本橋區元大坂町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

代理店

新井藥房本店
京城本町三丁目(電話三七八番)

新井藥房第一分店

新井藥房第二分店
京城南大門外

●周防德山海軍省煉炭所東隣

谷口無煙煉炭工場

無煙燃料無煙煉炭

御特色 火付善く火力耐久價格低廉

用途 汽鑵、暖爐、竈用に適す

京城太平町二丁目
代理店 京城南大門通 電話六〇三番
巴商會
韓國一手販賣

巳亥林主永鎭東洋生命保險株式會社ト金壹千圓ノ保險契約致居候處契約金韓國支社ヨリ受領致候間茲ニ廣告致候也

明治四十一年十二月

開城府 受取人 林昺植

(吉) 茶

宇治銘茶 茶道具 紅茶コーヒー 卸小賣

開春園

京城旭町一丁目

▲下宿開業▼

客室の淸潔と調理の美味と御接の懇切とを特色として下宿開業仕候間陸續御投宿の程

壽町二丁目十番戸橫小路(元花屋跡)

かめ屋

▲下宿開業▼

統監府御用

諸官衙人力車

荷物荷造及運搬

營業所 京城明治町(電話七三番)

本店 同本町二丁目(電話四〇番)

伊藤組

和洋暖爐販賣

並に附屬品一式 煙突取付請負

京城本町五丁目一番戸

馬木勇吉

電話四七一番

●寒氣に牛乳

●牛乳と消毒

韓國畜產株式會社

南大門外(電話八八番)

景品附聯合大賣出し

年稍に迫り年內餘日無き折柄我明治町一圓相聯合して景品附歲暮大賣出し開催仕り薄利、多賣の主義を以て御便利を圖り將來の御引立を仰ぎ度候間多少に不拘續々御來贖の程偏に奉希上候依て左に賣出し期間及景品進呈の方法種類並に加盟商店を列記し茲に廣告仕候也

一 大賣出期間は十二月五日より同月三十一日迄とす

二 聯合加盟店は商品代金五拾錢毎に御買は景品券枚宛を呈すべし但賃貸は此限りに非ず

三 景品券は御持參事務所に於て景品と御引替可申候

四 事務所に於て毎日午前九時より午後十時迄景品引替を爲すべし但三十一日は徹夜相渡可申候

五 景品は米壹俵、白米五升入、大縮緬、銘仙、蒲團、舶來ブリストルエキストラ、インバチス、貳枚續舶來毛布、寶石入金指輪、懷中時計、掛時計、洋傘、石油、醬油等…

七 景品進呈上正確を期する爲に左の有力家に監査を請へり

城六太君 林田金次郎君 田中佐一郎君 大東南生八君
羽多野彌一郎君 羽多野彥三郎君 吉田謙一君 沈宜碩君 森村大郞君

明治四十一年十二月

明治町聯合大賣出事務所

山本雜貨店 櫻井時計店 友谷金物店 岡田小間物店 江里口店紙 河上履物店 初田紙店 桑原太物店 原洋服店 大坂屋雜貨店 小林民雜貨店 伊藤履物店 柴田菓子店 有田雜貨店 唐川綿反物店 三桝屋 瀧川銃砲店 羽田藥房 宮崎印刷所 橋口雜貨店 中村商店 勝木洋傘店 近藤雜貨店 片桐家具店 鈴木洋服店 杉田薪炭商 廉敬模米煙店 八木菓子店

藤山明治堂支店 田中靴店 高木二樂堂 玉商會支店 尾川玩具店 石川ターニー商店 大島提燈店 安達ブリキ店 石田菓子店 高岡洋服店 古賀馬具店 高雄醬油店 寺田陶器店 安部古物店 山邊雜貨店 西山酒醬油店 竹上洋服店 富士材木店 北村靴店 清水食料雜貨店 今井食料雜貨店 河野商店 佐々部洋服店 山野光進舍 野村雜貨店 石田醫療機械店 李德有米店 金武飲食店

山本菓子店 ゑびす德舖 金化堂時計店 吉川金光堂 井上洋服雜貨店 田中藥店 寺田菓子店 幸野提燈店 石黃シエリス商會 川田小林支店 松崎精肉店 田本提燈雜貨店 藤中時計店 岡川雜貨店 中野央商店 沖川天商店 米田商店 深田平支店 中作餠店 小尾軍刀店 江川藥店 尹原商店 名貞奭材木店 岩古屋飲食店 尾古物店

●いさゝか問はん我思ふ母國新聞(三府四十三縣にて發行する)の總てを配達する取次店は有りや無しやと御尋ねの方あらば

唯人成社(本店京城領事館通 支店龍山漢江通參丁目)あるのみと御答可被下候

●我探す店ありや●

神田組

茶ハ宇治ノ銘ナルチ選ミ茶器ハ精水ノ粹チ拔ク

青々園

京城本町四丁目

青々園茶舖

易斷觀相及教授

薔薇 寶文館

三一館

近は來館遠は郵便にて

謹告

店員山口撲儀病中ノ處去ル一日死亡仕候葬式ノ儀ハ本願寺ニ於テ擧行ノ筈ニ御座候

猶同人生前ハ不一方各位ノ御眷顧ヲ蒙リ候段遺族一同感謝罷在候

右謹告仕候

十二月三日

京城本町四丁目

山口太兵衛
山下新太郎

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告

仁川海岸通 貨物及船客取扱店
郡回漕會
電話三九番

京城南大門通
巴商店
電話三〇六番

釜山長崎門司神戸行 山東丸 十二月二十日後三時
大連行 商砂丸 十二月八日後一時
大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月八日前五時
大連行 酒田丸 十二月廿二日後一時
釜山出帆浦鹽行 神丸 十二月

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船溜際ヲ出

●新聞料 一枚金二錢 一ヶ月前金四十錢 六ヶ月金貳圓三十錢 一ヶ年
●廣告料 五號活字十九字詰一行金…
發行兼編輯人 秋山 三郎
印刷人 高 思 太
發行所 京城新聞社 電話六三番